

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	・ご家族や地域住民へ向け広報誌を発行し、理念や取り組み内容を定期的に伝え理解していただくよう努めてまいります。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	・災害時に協力していただけるよう近所を利用者と訪問していきたくと思います。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		・今後も定期的にユイマール活動へ参加できるように努めてまいります。

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・認知症についての勉強会を地域住民対象に開催いたしました。	○	・地域住民の方へ介護教室なども開催していきたいと思えます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・職員へサービス評価の意義をミーティングの中で説明を行い、地域密着型サービスの意義を再認識し自己評価に取り組んでまいりました。	○	・地域密着サービス評価の評価項目を活かして職員全員でサービス向上の為、改善に取り組んでいきたいと思えます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議では事業計画やサービス内容、本人やご家族からのアンケート内容を報告し助言やご意見を伺っております。	○	・今回のサービス評価の内容結果を報告し助言をいただき改善に努めてまいります。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・運営推進会議のみでの連携となっている。	○	・今後は村役場担当課へ出向き積極的に情報交換を行ってまいります。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・法人内の研修として、沖縄県社会福祉士会会長をまねき成年後見制度に関する勉強会を開催。参加する事で学習しております。	○	・今後も定期的、継続的な勉強会の開催、研修参加等を検討してまいります。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・地域包括センター主催の施設従事者による高齢者虐待についての勉強会へ参加し高齢者虐待法を学びました。		・今後も定期的、継続的な勉強会の開催、研修参加等を検討してまいります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・重要事項説明を行う際に利用料金、サービス内容、事故対策、地域連携及び、医療体制との連携についてを十分説明し同意を得ております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・入居者の不安や、意見はその都度対応出来るよう職員全員で検討し、必要時にはご家族への協力依頼を行っております。 ・ご家族へアンケートを行い業務改善に努めております。	○	・介護相談員の派遣も検討したいと思います。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・広報誌の発行や、ホームページにてグループホームでの生活の様子を公開し、県外に居るご家族にも見てもらえるようにしております。 ・管理者が変更になった時は、前管理者と共に面会時の報告や、利用者ご家族宅へ出向いてお知らせいたしました。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・年2回ご家族へのご意見ご要望等アンケートを実施し業務改善に努めております。	○	効果的なアンケート内容の検討、回収率の向上努める必要があります。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・日頃より職員とのコミュニケーションを意識して行っている。 ・毎月会議を開催し職員と管理者がコミュニケーションを図れる機会を提供し必要に応じ業務改善に繋げております。		・今後も現場職員の意見を聞きいれ必要に応じ業務改善を行ってまいります。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・柔軟な対応がいつでもできるよう職員の勤務配置を行っております。 ・管理者は状況に応じた対応が出来るように極力通常のシフトに配置しない為、利用者の変化に応じた柔軟な体制を行っております。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・管理者の変更に伴い、入居者、ご家族への挨拶変更をお伝えし対応いたしました。 ・利用者、ご家族への信頼関係を築く為にも、異動や離職がやむを得ない場合も、入居者へ時期や引継ぎの面で配慮しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人内で開催している勉強会への参加や、教育訓練計画を立てて実施しており、職員の力量向上に努めております。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他グループホームへ出向き職員との交流を図りました。見学した事業所よりネットワーク作りの手段としてグループホーム連絡会の加入を勧められ、8月にグループホーム連絡会へ加入いたしました。今後は同業者とのネットワーク作りに努めてまいります。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・職員の悩みなどを受けたり、毎日の申し送りの際に表情を見て管理者より声かけを行っております。 ・宿直室がある為休みたい時はいつでも横になれるよう配慮しております。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・理事長、施設長が頻繁に來られ利用者と過ごしたり、職員の意見や、事業所の状況を確認しています。 ・自己評価、人事評価を実施しており公正な判断を図っています。 グループホーム職員としての必要な力量を明確にし、向上心を持って働ける環境を整えております。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前に本人、ご家族へ会い生活、身体状況、嗜好等を確認、職員へ情報を提供し早く入居生活に慣れるよう努めております。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ご家族の介護の経緯や今までのサービス状況を確認しております。入居に当たってご家族の希望や不安をご確認する事を意識しております。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居の申込み後直に入居していただくのではなく、現在在宅にて生活を送れているのであれば、継続できるよう支援しております。(入居にあたり判定会議を開催し入居の必要性を判断しております。)		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居前はご本人と会い馴染みの関係作りに努めております。 ・直ぐに利用になった場合は、ご家族、以前に係わっていた関係者へ来ていただくように努めております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・共同生活の中で役割を持って生活していただくよう留意しております。 ・普段の会話や生活場面より、入居者より教えていただく事があります。また本人より話しやすいような話題を普段の会話に取り入れるよう努めております。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族の面会時にはご本人、ご家族、職員も交わりにコミュニケーションを図るよう努めております。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・行事へご家族をお誘いし、一緒に時間を過ごしていただく事によりよりよい関係づくりが継続できるように努めております。	○	・今後は家族会の結成も検討していきたいと思っております。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・入居後も出身地域のユイマール活動(ミニデイサービス)へ継続して参加していただいております。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・入居者同士の関係性について職員間にて共有し入居者同士の関係がうまくいくよう調整役として支援しております。またお互いに適度な距離をもち過ごして頂けるような空間を提供しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・サービス利用(契約)が終了したご家族より事業所の庭の手入れをしたいと希望があり現在でも定期的に来所していただき、庭の手入れを通した継続的な関係をさせていただいております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・入居者の行動、言葉を記録に残し、その言葉をご家族面会時に報告し過去の暮らしに接点は無いか確認しております。		・家族との意見交換を継続的に行ってまいります。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご本人から確認した情報をご家族へ面会時に再確認し生活歴の把握に努めております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・一人ひとりの生活リズムを把握し、生活の行動の中でご本人の出来る事、出来ないことを確認し、出来る事が維持できるように努めております。		・個々の生活リズムに影響のないサービスを実施してまいります。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご本人が外出したいという思いをご家族へ伝えご本人の意見を反映し可能な限り実行しております。また職員にて対応した際はご家族へ報告いたしております。 ・入居者ご本人と話し合い介護計画を作成しております。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・3ヶ月に1度モニタリングを実施し、内容変更が必要な場合はご家族へ連絡しご要望を確認し見直しを行っております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・支援経過記録表に日頃の生活様子、ケア内容を記入し介護計画の評価を実施しております。また職員の出勤時は個々の支援経過記録表、申し送りノートを確認するよう義務付けております。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・利用者に負担となる定期受診は極力減らす為、地域の医療機関と連携して往診していただいております。 ・ご本人、ご家族の状況に応じ可能な限り、通院や送迎等の必要な支援が柔軟に対応するよう努めて個々の満足を高める努力しております。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・自治会の会合や民生児童委員の集まりなどへ協力を呼びかけております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・定期的に出張理容サービスを活用しております。 ・自治会の開催しているユイメール活動(ミニデイサービス)へ参加しております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議に地域包括支援センターの職員も参加しており協働しております。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居後も入居前のかかりつけ医に診ていただいております。かかりつけ医師の協力にて定期的に往診を行っていただいております。複数の医師の協力体制を得て連携を密に結んでおります。		

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>・今後も継続して小規模多機能看護師と連携をはかり、入居者の健康管理に努めてまいります。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>・入居前の情報をもっと詳しく知るため、入居前に記入する確認事項を検討してまいります。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・記録などの個人情報や所定の場所またはパソコン内に保管しております。	○	・申し送りの際は入居者の居る場所では個人の名前を出さず、(イニシャルを活用)し情報交換を行うよう努めてまいります。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・個々にあった声かけを心がけております。入居者の発言、行動等を記録し共有して、ミーティングに発言行動について話し合い何を求めているのか検討する機会を設けております。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・入居者の意向に応じ、買い物や散歩等が柔軟に対応出来るよう心がけております。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・服装や髪型を褒めたり、服が乱れてる時はさりげなく直すなどの気配りを行っております。自己にて髪型を整えることの出来ないかたは、鏡の前に案内し整えております。		個々の自己表現できるようにしていきたい。その為に日々の気づきを共有し、援助方法を検討してまいります。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・個々の出来る力を観察し、食事の準備や後片付けを一緒に行うように心がけております。 ・入居者と一緒テーブルを囲み楽しく食事をいただけるように努めております。	○	・食事の準備、片づけが入居者へ押し付けにならないよう、当日の状況(気分、体調)に応じ継続的に実施できる努めてまいります。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・飲酒、喫煙を希望されるかたはありますが、疾病との関係や、ご家族の要望にて希望に添えないケースもあります。 ・職員は一人一人の嗜好品を把握しており、本人の状況や、希望に応じ提供しております。	○	・ご本人、ご家族、医師と話し合いながら、少量でも可能な限り提供していけたらと考えております。

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄チェック表にて排泄パターンを把握し定期的にトイレ誘導を行っております。拒否がある時は時間を置いてトイレへ案内しております。 ・ご自分で排泄の訴えが無い方でも表情などで排泄サインと読み取りトイレへ案内しております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入居者のその日の希望を確認し入浴していただいております。 ・入浴を拒む方に対しては、言葉かけの工夫や、職員を変えて行うなどの対応をいたしております。		・ご本人より入浴の希望が少ない現状があります。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・入居者個々の状態に合わせた安眠や休息の援助を行っております。 ・寝付けない方には、添い寝や、お部屋の照明の調整を行っております。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・散歩や小規模多機能事業所の利用者と交流し気晴らしができる環境づくりに努めております。食事の準備、後片付け等個々役割にあった支援を行っております。 ・外出や行事なども入居者と相談して実施するよう心がけております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・小額ではあるが自己にて金銭を管理しているかたがおられ、外出時などに自分で支払いを行っております。	○	・時折財布が無くなっている訴えがあり、他者に攻撃する事がある。財布の管理場所の把握に努めております。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・希望に応じ外出援助を行っております。入居以前に利用していた、デイサービス利用者との交流を希望時に実施しております。	○	・一人ひとりに合った外出場所を検討し、援助していきたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・普段行けないような場所には、あらかじめ勤務調整、行事計画を立て行楽地や、地域の祭り等の見学に伺っております。	○	・ご家族も参加して外出する機会も提供していきたいと思っております。

記入日：平成20年8月25日

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・自由に電話が使用できるようにリビングに設置している。またお部屋内でも使用していただけるよう子機を配置しております。自ら電話をかけられない方も連絡して欲しいときは職員が連絡行っております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・ご家族や、馴染みの訪問者の来所の際は、お茶や、茶菓子などを提供し気兼ねなく過ごしていただくよう対応しております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・高齢者の虐待防止や人権についての勉強会へ参加し報告会を行いました。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関の鍵は掛けずに過ごしています。職員は入居者の行動パターンの把握に努め、外出したい理由を確認し、入居者が外出してもすぐには呼び止めずに、見守りを行っております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・台所からリビングを見渡せる位置に入居者の様子を観察できる配置となっております。 ・夜間は2時間置きに巡視を実施し、起きられた場合にも直ぐに対応出来るよう居場所を工夫しております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・刃物や、内服等厳重に保管するもの意外は、入居者が使用できるようにしてあります。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・事故が発生した場合、事故ニアミス報告書を記録し、職員の共有認識を図っております。 ・事故が発生した場合は速やかにご家族へ報告を行っております。	○	・個々の状況から予測されるリスクを把握し、事故を未然に防ぐ工夫をし事故防止に努めてまいります。

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・マニュアルを作成し、周知しております。 ・全職員が法人職員対象の救急救命法の講習を受講しております。	
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・消防署の協力を得ての避難訓練、消火器の使い方など、まだ実施しておりません。	○ ・消防署の協力を得て年2回の防災訓練のマニュアルを作成し実施いたします。また地域の協力体制を確保する為、運営推進会議にて話し合いたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・転倒のリスクの入居者ご家族より抑制して頂きたいと要望を受けましたが、本人の自由な行動を制限しない事業所の取り組みを説明し理解を得られるように努めております。	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・食事、排泄、睡眠状態、顔色を観察し普段と異なった状況がある時は、バイタル測定を行っており、状況に応じ病院受診に繋げております。又定期的にバイタル測定を実施し、日頃の状態観察に努めております。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・お薬説明書のコピー整理し職員が内容を確認しやすいようにしております。服薬時は職員が本人へ手渡し、きちんと服用できているのか確認しております。	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・管理栄養士の作成したメニューに沿って食物繊維の多い食材を使用しております。ご家族のご理解、協力を得て、個別でヤクルトを飲用していただいているケースもあります。 ・水分、運動などで自然な排便できるように配慮しております。	・頑固な便秘のかたは、ご家族や、医師へ相談し便秘薬を処方して頂いております。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後歯磨きの声掛けを行っている。その日の入居者の状況に応じて見守りや、介助にて支援しております。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・寝具の毛布は入居者が使い慣れたものを持ち込んでいただいております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・リビングは、毎食後に窓を開け換気を行っております。室内は温度計、湿度計利用者の様子を見ながら調整しております。 ・トイレは常に換気扇を使用しトイレの高窓を開放しております。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・バリアフリー構造にてトイレ、玄関、浴室、には手すりを取り付け安全に移動できるように配慮しております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・本人にとって「何が分かりにくいのか」「どうしたら本人の力でやっていただけるか」を追求し状態に合わせて環境整備に努めております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・ベランダやテラスにプランターがあり時々入居者が水遣りを行っております。1階庭にベンチを設置し入居者が寛げるよう工夫しております。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

沖縄県(グループホームよみたんふくぎの里)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・同敷地内に併設する小規模多機能居宅介護事業所の利用者と交流を図り、明るく楽しいひとときを過ごしていただけるよう取り組んでいます。よみたんふくぎの里は開所してまだ11ヶ月の事業所です。今回の自己評価を実施し、管理者をはじめ職員が、地域密着サービスの意義と役割を再認識する機会となりました。

記入日:平成20年8月25日